



それぞれにできること

富山市立大沢野中学校 2年 川西 伶青

私が、よりよい世界のためにできることといえば、きっとすごく少ないと思うけど、それでもできることは何かあると思います。

例えば、ニュースや新聞などで情報を得ることです。世界で、他の国で、今何が起こって誰がどんな思いをしているのかがわかります。それを知らないと、知らないからきっと何もできないと思います。何をすればいいのかもわからなくて、よりよい世界にはしていけなくなります。

よい世界にして、そこでくらししていくために、私たちは世界を知る必要があります。そこで活用するのが、ニュースや新聞です。貧困、環境破壊や食料不足、感染症、紛争やテロなど、様々な国では様々な問題があり、今この瞬間でもそれは進んでいっています。それを知って、どうしたらよいか、何をしたらよいかを考えることも大切です。人によって考え方は違うし、どう進んでいくかも、必ずしも皆同じではないと思います。時には、悪い方向に進んでいったりもするし、考え方をあらためて善い方向にいけたりもします。そんなことを考えると、おもしろいな、と思いました。考え方一つで行動は違ってくるし、できることも違ってきます。沢山の人が、この世界にはいて、皆それぞれの沢山の考え方があります。そう考えると、よりよい世界のためにできることとは、人それぞれで違ってることがわかりました。確かに、皆同じ考えを持ち、同じ行動をとり、同じやり方でよりよい世界にするのは、少し違う気がします。

一つの道を皆で進み、ゴールにたどりつくのではなく、沢山ある、枝分かれした道を一人ひとり、分かれて進み、ゴールにたどりつく方が様々な進み方があって見えてくるものも異なると思います。例えのような考え方になってしまったけれど、私はこのような考えを持ちました。

なので、私はニュースなどからの情報で世界を知り、よいものにしていくために何をしたらよいかを、皆と同じ考え方ではなく、自分なりの考え方でみつけていこう、と思いました。